



心をひとつに
勝利をつかめ!!

主な内容

- にかほ市男女共同参画.....P 2～3
- まちの話題.....P 4～5
- 行政情報チャンネル.....P 8～10
- 暮らしの掲示板.....P11～13
- 戸籍の窓口、6月のカレンダー.....P15

vol.257 **6.1**
2016

がんばろう東北

写真：5月14日、院内小学校・運動会
実力伯仲の色別対抗綱引き合戦

現在にかほ市では、鳥海山周辺および飛島の日本ジオパーク認定を目指し活動を行っています。

そのジオパークの核となる鳥海山や飛島の歴史などのコラムを定期的に掲載しています。



秋田大学
教育文化学部
林 武司

第18回「水と火山の不思議な関係」

水と火山は、文字を見ると相容れないもののように思えますが、実は自然の成り立ちにおいて、とても深い関係があります。今回は、水と火山の不思議な関係についてご紹介しましょう。

まず、火山ができるためには、水が必要です。火山を構成する溶岩などの材料であるマグマは、地球の活動によって地球の内部でつくられます。このマグマがつかれるときに、地球の内部に取り込



鳥海山・飛島ジオパーク構想リレーコラム 日本海と大地がつくる 水と命の循環

またたき岩石に含まれる水や海水が、大きな役割を果たします。

一方、火山は、その内部にたくさん水を蓄えることが可能であり、降水の豊富な地域では、火山は巨大な水がめのような働きを持っています。蓄えられた水は、山体の各地に湧水（ゆうすい）や河川をつくったり、温泉をもたらしたりします。鳥海山にも、たくさんの湧水や河川が見られますね。これらの水は、鳥海山に降った雨や雪が地下に浸透して蓄えられ、再び、地上に湧き出してきたものです。また、活火山である鳥海山では、その火山活動の影響を受けて、酸性度の強い（pHの低い）湧水や河川、あるいは水温が20℃以上もある湧水など、個性豊かな水が各地に見られます。

鳥海山がもたらしてくれた水の恵みながら、感謝しながら、火山の不思議な関係を想像してみましよう。



砂浜から湧き出す鳥海山の湧水
(釜磯海岸遊佐町)

同時開催

「ふるさとへのまなび」

郷土資料館所蔵の木版画家・池田修三（1922～2004）の作品の中から、今回はふるさとへの温かいまなびにあふれた作品を前期と後期にわけて展示します。

期間 6月4日（土）
平成29年5月21日（日）

問合せ先 象潟郷土資料館 ☎43・20005

「景勝地・象潟の成り立ち」

象潟は昔、大小百数十の島々を浮かべた入り江であり、松島と並び称された景勝の地でした。その象潟はおよそ2500年前の鳥海山の山体崩壊により原形が作られ、文化元年（1804）の地震で陸となりました。

今回の展示では、埋もれ木や貝化石など象潟の成り立ちを示す資料を紹介すると共に、松尾芭蕉をはじめ景勝地・象潟を訪れた文人たちの筆跡を紹介します。

期間 6月4日（土）
平成29年5月21日（日）

【展示説明会】
期日 6月4日（土）
時間 午前10時～
入館料 **無料**
展示解説 栗本 康司氏
（秋田県立大学木材高度加工研究所教授）
資料館学芸員

象潟ICから出土した巨大な埋もれ木